

2018年4月23日 全13頁

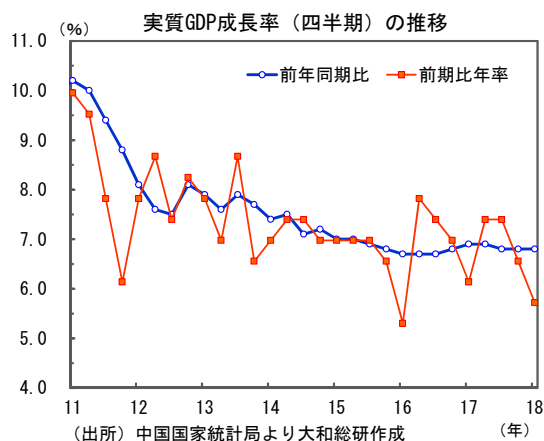
グラフで見る 2018年3月の中国経済動向

経済調査部 研究員 永井 寛之

GDP

- ◆ 2018年1-3月期の実質GDP成長率は前年同期比6.8%と、17年の前年比6.9%から伸び率が低下したものの、全人代で示された2018年の成長率目標の前年比6.5%前後を上回っており、堅調を維持している。前期比年率は5.7%と、17年7-9月期の同7.4%を直近のピークに減速している。
- ◆ 1-3月期の需要項目別実質GDP成長率寄与度は、最終消費支出が5.3%ptに上昇する一方、総資本形成が2.1%ptへ低下し、純輸出は▲0.6%ptと16年以来のマイナスに転じた。消費が景気をけん引している。純輸出は、米国との貿易戦争が激化すればマイナス幅がさらに拡大する恐れがある。
- ◆ 1-3月期の産業別成長率では、17年と比較して第二次産業が加速(6.1%→6.3%)した一方で、第一次産業(3.9%→3.2%)と第三次産業(8.0%→7.5%)は減速した。

実質GDP成長率、需要項目別寄与度



需要項目別実質GDP成長率寄与度

		成長率(累計)	最終消費支出	総資本形成	純輸出
		%	%pt	%pt	%pt
2011年	1-3月	10.2	6.1	3.8	-0.1
	1-6	10.1	5.1	4.6	0.1
	1-9	9.8	5.0	4.4	0.1
	1-12	9.5	5.9	4.4	-0.8
2012年	1-3月	8.1	6.4	2.4	-0.7
	1-6	7.9	4.7	4.0	-0.9
	1-9	7.8	4.2	3.9	-0.4
	1-12	7.9	4.3	3.4	0.2
2013年	1-3月	7.9	4.3	2.3	1.1
	1-6	7.7	3.4	4.1	0.1
	1-9	7.8	3.5	4.3	-0.1
	1-12	7.8	3.6	4.3	-0.1
2014年	1-3月	7.4	5.5	3.1	-1.2
	1-6	7.4	4.0	3.6	-0.2
	1-9	7.3	3.6	3.0	0.8
	1-12	7.3	3.6	3.4	0.3
2015年	1-3月	7.0	4.5	1.2	1.3
	1-6	7.0	4.4	2.3	0.3
	1-9	6.9	4.0	2.9	-0.0
	1-12	6.9	4.1	2.9	-0.1
2016年	1-3月	6.7	5.2	2.5	-1.0
	1-6	6.7	4.4	2.9	-0.6
	1-9	6.7	4.3	2.9	-0.5
	1-12	6.7	4.5	2.9	-0.6
2017年	1-3月	6.9	5.5	1.3	0.1
	1-6	6.9	4.4	2.4	0.1
	1-9	6.9	4.4	2.4	0.1
	1-12	6.9	4.1	2.2	0.6
2018年	1-3月	6.8	5.3	2.1	-0.6

(出所) 中国国家统计局、CEICより大和総研作成

産業別成長率、各地方の成長率

産業別実質GDP成長率（1月から累計の前年同期比、単位：％）

		実質GDP 成長率	第一次 産業	第二次 産業	工業	建設業	第三次 産業	交通 運輸等	卸売・ 小売等	ホテル・ 飲食業	金融業	不動産業	その他 サービス業
2011年	1-3月	10.2	3.2	11.3	11.5	10.3	9.9	9.3	12.3	4.7	11.6	8.8	9.0
	1-6	10.1	2.9	11.1	11.4	10.0	10.1	9.3	12.3	4.8	11.0	8.7	9.7
	1-9	9.8	3.5	11.0	11.3	9.8	9.9	9.7	12.2	4.9	9.0	8.7	9.8
	1-12	9.5	4.2	10.7	10.9	9.7	9.5	9.7	12.5	5.1	7.7	7.4	9.6
2012年	1-3月	8.1	3.7	9.5	9.4	10.2	7.3	5.7	10.1	6.2	6.8	0.6	8.9
	1-6	7.9	4.3	8.7	8.5	9.8	7.6	5.9	10.0	6.1	8.0	1.2	8.9
	1-9	7.8	4.2	8.3	8.1	9.8	7.8	5.8	10.1	6.3	8.8	3.1	8.5
	1-12	7.9	4.5	8.4	8.1	9.8	8.0	6.1	10.3	6.5	9.4	4.7	8.1
2013年	1-3月	7.9	3.0	7.8	7.6	9.9	8.4	6.4	10.1	3.4	10.9	9.8	7.0
	1-6	7.7	2.8	7.7	7.4	9.8	8.3	6.3	10.3	3.5	10.3	8.6	7.4
	1-9	7.8	3.3	7.9	7.7	9.9	8.4	6.5	10.4	3.7	10.6	8.1	7.5
	1-12	7.8	3.8	8.0	7.7	9.7	8.3	6.6	10.5	3.9	10.6	7.2	7.5
2014年	1-3月	7.4	3.2	7.6	7.3	9.4	7.6	6.0	10.2	5.6	8.6	2.6	8.1
	1-6	7.4	3.7	7.7	7.4	9.5	7.6	6.4	10.1	5.8	8.2	2.5	8.3
	1-9	7.3	4.1	7.6	7.2	9.3	7.6	6.3	9.9	5.8	8.5	2.1	8.4
	1-12	7.3	4.1	7.4	7.0	9.1	7.8	6.5	9.7	5.8	9.9	2.0	8.5
2015年	1-3月	7.0	3.1	6.4	6.1	8.7	7.8	4.8	6.1	5.7	15.3	0.7	8.9
	1-6	7.0	3.5	6.3	6.1	7.0	8.1	4.1	6.0	5.7	17.0	2.5	8.8
	1-9	6.9	3.8	6.2	6.1	6.5	8.2	4.1	6.0	6.0	16.7	3.1	9.1
	1-12	6.9	3.9	6.2	6.0	6.8	8.2	4.1	6.1	6.2	16.0	3.2	9.3
2016年	1-3月	6.7	2.9	6.0	5.7	8.4	7.5	3.4	6.2	7.5	7.0	9.1	8.9
	1-6	6.7	3.0	6.2	5.9	8.2	7.5	4.7	6.6	7.4	5.5	9.0	9.0
	1-9	6.7	3.5	6.3	6.0	7.6	7.5	5.4	6.9	7.2	5.1	8.9	9.0
	1-12	6.7	3.3	6.3	6.0	7.2	7.7	6.6	7.1	7.4	4.5	8.6	7.5
2017年	1-3月	6.9	3.0	6.4	6.5	5.3	7.7	8.7	7.4	7.4	4.4	7.8	6.9
	1-6	6.9	3.5	6.4	6.5	5.3	7.7	9.2	7.3	7.2	3.9	7.0	7.0
	1-9	6.9	3.7	6.3	6.5	4.8	7.8	9.2	7.2	7.2	4.6	5.9	6.9
	1-12	6.9	3.9	6.1	6.4	4.3	8.0	9.0	7.1	7.1	4.5	5.6	7.1
2018年	1-3月	6.8	3.2	6.3	6.5	5.4	7.5	7.7	6.8	7.1	2.9	4.9	6.1

【参考】

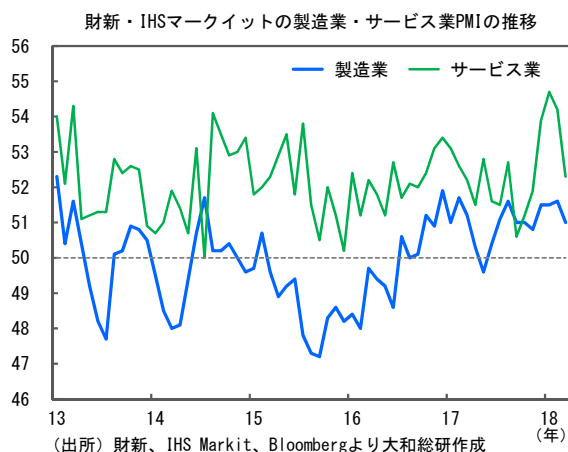
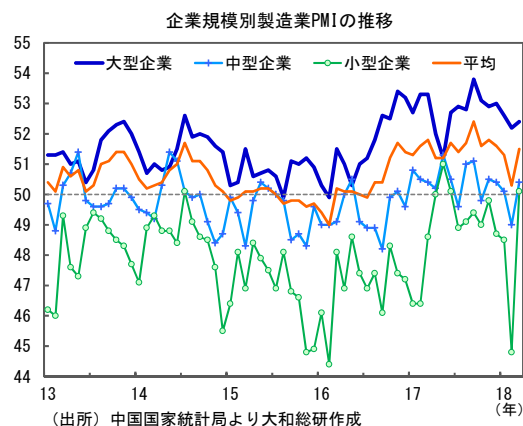
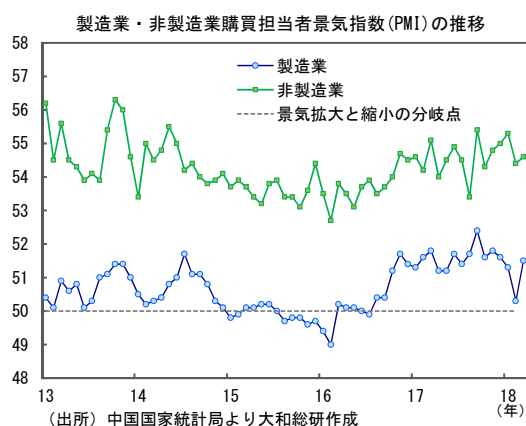
2017年構成比	100.0	7.9	40.5	33.9	6.7	51.6	4.4	9.4	1.8	7.9	6.5	15.1
----------	-------	-----	------	------	-----	------	-----	-----	-----	-----	-----	------

(出所) 中国国家统计局より大和総研作成

景況感

- ◆ 中国国家統計局と中国物流購入連合会が発表した 2018 年 3 月の製造業購買担当者景気指数 (PMI) は 51.5 と、新規受注の上昇などを背景に、2 月から 1.2pt 上昇した。景気拡大と縮小の節目である 50 を 20 ヶ月連続で上回った。非製造業 PMI は 54.6 と、2 月より 0.2pt 上昇した。
- ◆ 上記製造業 PMI を企業規模別に見ると、大型企業は 52.4 (2 月は 52.2)、中型企業は 50.4 (2 月は 49.0)、小型企業は 50.1 (2 月は 44.8) と全ての企業規模で上昇した。中型企業は 2 ヶ月ぶりに、小型企業は 9 ヶ月ぶりに 50 を上回った。
- ◆ 中国メディアの財新と調査会社 IHS マークイットが発表した 3 月の製造業 PMI は 51.0 と、2 月 (51.6) より 0.6pt 低下した。サービス業 PMI は 52.3 (2 月は 54.2) と、2 ヶ月連続で前月比で低下した。

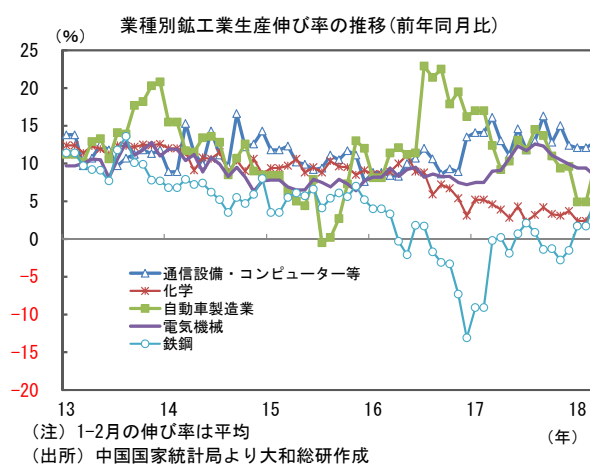
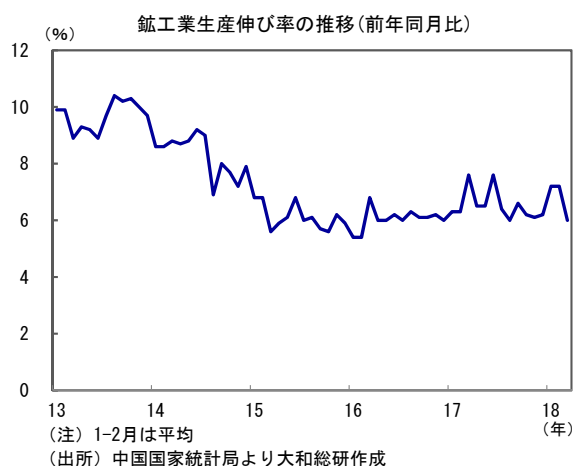
各種 PMI



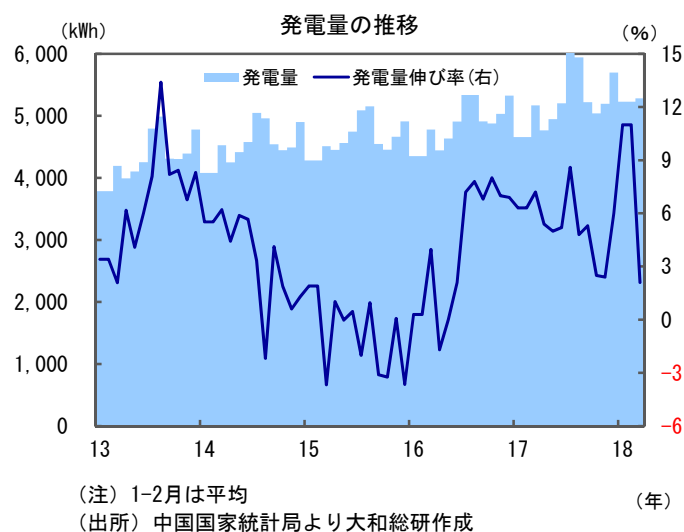
鉱工業生産

- ◆ 2018年3月の鉱工業生産は前年同月比6.0%増となり、1~2月の同7.2%増から減速した。農村からの出稼ぎ労働者の中には小正月（2018年は3月2日）まで休暇を取得する人がいるというカレンダー要因が3月の減速の理由の一つ。1~3月の前年同期比は6.8%増と、2017年の前年比6.6%増からは伸び率が上昇している。1~3月の2017年の売上上位5業種の動向を見ると、通信設備・コンピューター等は前年同期比12.5%増、化学が同3.1%増、自動車製造業は同6.8%増、電気機械は同9.0%増と伸び率が鈍化したものの、鉄鋼は同5.2%増と伸び率が上昇した。
- ◆ 18年3月の発電量は前年同月比2.1%増、1~3月の前年同期比は8.0%増と、17年の前年比5.9%増から伸び率が上昇している。

鉱工業生産



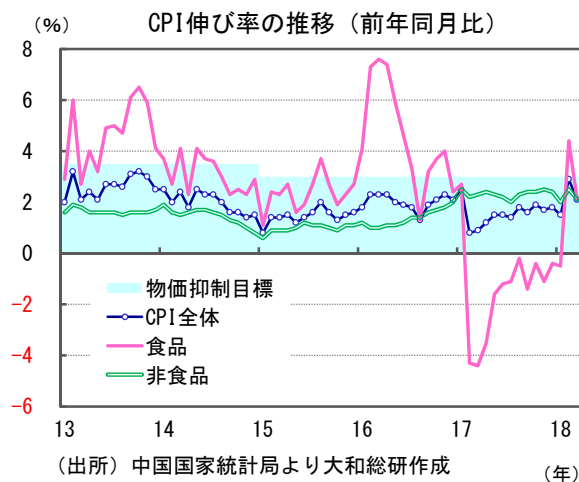
発電量



物価

- ◆ 2018年3月の消費者物価指数（CPI）は前年同月比2.1%上昇と、2月の同2.9%上昇から伸び率が低下した。食品は同2.1%上昇、非食品も同2.1%上昇であった。特に、食品価格は2月に春節により需要が旺盛となったが、その反動が見られたことが低下の主因である。春節は昨年1月から今年は2月にずれている。内訳を見ると、生鮮野菜は、2月：同17.7%上昇→3月：同8.8%上昇、卵は、2月：同22.5%上昇→3月：同17.6%上昇、と伸び率が低下し、肉類は、2月：同3.1%下落→3月：同6.1%下落、とマイナス幅が拡大した。また、豚肉は、2月：同7.3%下落→3月：同12.0%下落とマイナス幅が拡大し、CPI全体を▲0.32pt押し下げている。しかし、養豚用の飼料である大豆は輸入に依存しており、その主な輸入相手国は米国である。政府は米国への制裁措置として米国产の大豆に25%の関税をかけると予告しており、発動されれば豚肉価格の上昇が懸念される。
- ◆ 3月の工業製品出荷価格指数（PPI）は前年同月比3.1%上昇と、2月の同3.7%上昇から伸び率が鈍化した。うち石炭・石油などの採掘工業品価格は、2月：同6.4%上昇→3月：同5.0%上昇、鉄鋼などの原材料工業品価格は、2月：同5.9%上昇→3月：同5.1%上昇、といずれも伸び率が低下した。

消費者物価

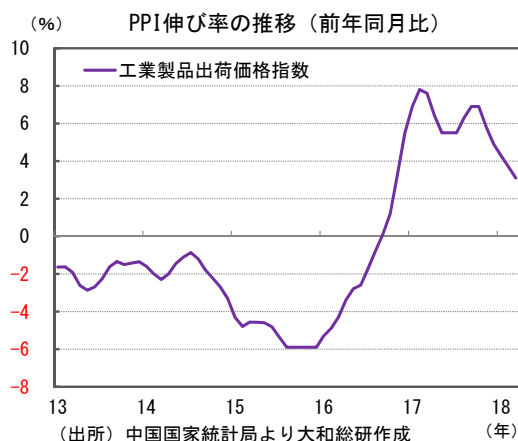


消費者物価指数 分類別伸び率（前年同月比、%）

	CPI	食品	衣服	住居	生活用品 及び サービス	交通・ 通信	教育文化 ・ 娯楽	医療 保険	その他 用品・ サービス
2017/02	0.8	-4.3	1.2	2.5	0.5	1.7	1.8	5.1	3.1
2017/03	0.9	-4.4	1.3	2.4	0.7	2.0	2.3	5.3	2.9
2017/04	1.2	-3.5	1.3	2.4	0.8	1.8	2.6	5.7	3.4
2017/05	1.5	-1.6	1.3	2.5	1.0	1.1	2.6	5.9	2.9
2017/06	1.5	-1.2	1.4	2.5	1.1	0.1	2.5	5.7	2.8
2017/07	1.4	-1.1	1.4	2.5	1.1	-0.2	2.5	5.5	1.3
2017/08	1.8	-0.2	1.3	2.7	1.3	0.7	2.5	5.9	1.4
2017/09	1.6	-1.4	1.3	2.8	1.4	0.5	2.3	7.6	1.4
2017/10	1.9	-0.4	1.2	2.8	1.5	0.8	2.3	7.2	1.8
2017/11	1.7	-1.1	1.2	2.8	1.5	1.3	2.0	7.0	1.7
2017/12	1.8	-0.4	1.3	2.8	1.6	1.2	2.1	6.6	1.9
2018/01	1.5	-0.5	1.4	2.7	1.5	0.2	0.9	6.2	1.2
2018/02	2.9	4.4	1.1	2.2	1.8	1.5	3.7	6.0	1.7
2018/03	2.1	2.1	1.1	2.2	1.6	0.3	2.2	5.7	1.2

(出所) 中国国家统计局より大和総研作成

生産者物価



工業製品出荷価格指数の内訳（前年同月比、%）

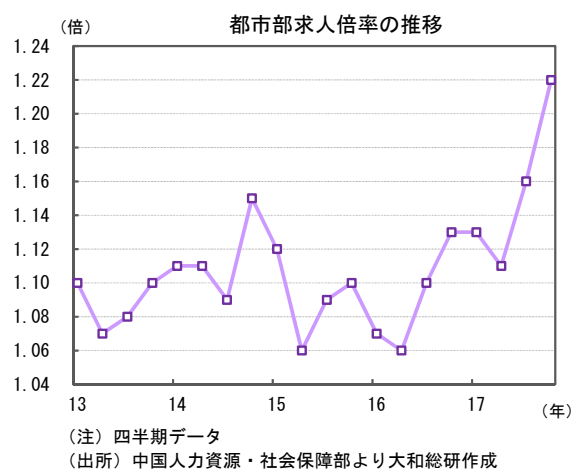
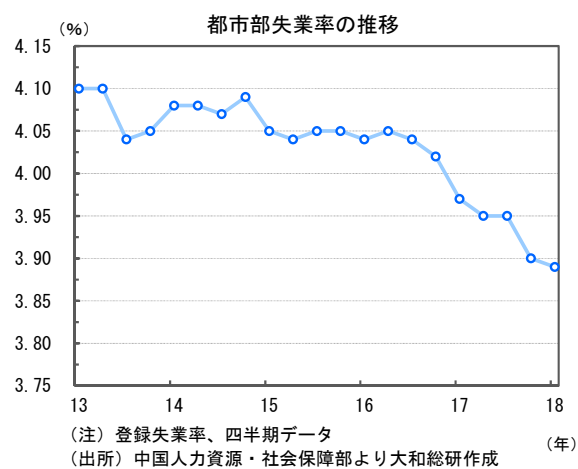
	工業製品出荷価格指数									
	生産財価格				生活財価格					
	採掘 工業品	原材料 工業品	加工 工業品	食品	衣類	日用品	耐久 消費財			
2017/02	7.8	10.4	36.1	15.5	6.6	0.8	1.1	1.3	1.5	-0.6
2017/03	7.6	10.1	33.7	14.9	6.5	0.7	0.7	1.3	1.4	-0.4
2017/04	6.4	8.4	28.3	13.0	5.2	0.7	0.5	1.5	1.4	-0.1
2017/05	5.5	7.3	22.7	11.1	4.6	0.6	0.3	1.5	1.1	0.2
2017/06	5.5	7.3	18.3	10.0	5.4	0.5	0.1	1.3	1.0	0.1
2017/07	5.5	7.3	15.8	9.3	5.8	0.5	0.4	1.2	0.6	0.0
2017/08	6.3	8.3	18.2	11.0	6.4	0.6	0.7	1.4	0.8	0.0
2017/09	6.9	9.1	17.2	11.9	7.3	0.7	0.7	1.2	1.3	0.0
2017/10	6.9	9.0	14.7	11.6	7.5	0.8	0.6	0.9	1.9	0.0
2017/11	5.8	7.5	10.8	9.7	6.3	0.6	0.4	0.7	1.7	0.0
2017/12	4.9	6.4	9.1	8.1	5.5	0.5	0.2	0.6	1.6	-0.2
2018/01	4.3	5.7	6.8	7.3	4.9	0.3	0.0	0.8	1.4	-0.3
2018/02	3.7	4.8	6.4	5.9	4.2	0.3	0.0	0.5	1.1	-0.1
2018/03	3.1	4.1	5.0	5.1	3.7	0.2	0.0	0.3	0.9	-0.3

(出所) 中国国家统计局より大和総研作成

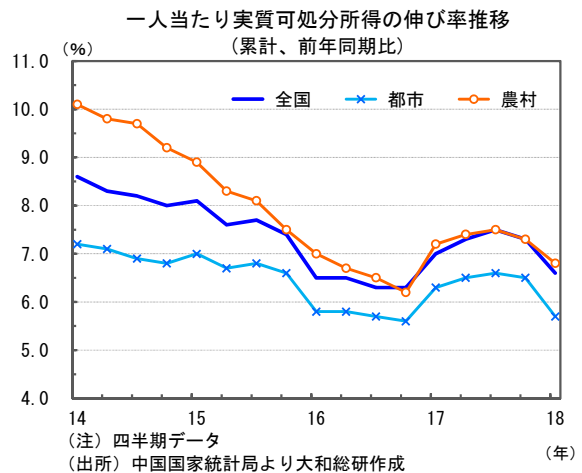
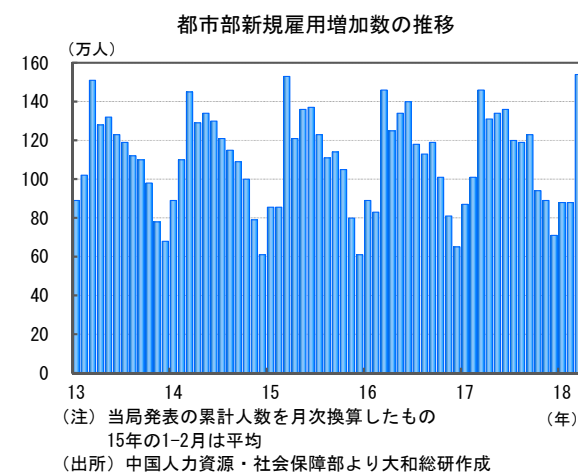
雇用と所得

- ◆ 2018年1～3月の都市部新規雇用増加数は330万人となった（全人代で打ち出された2018年間の目標は1,100万人）。
- ◆ 18年1-3月期の実質可処分所得は、都市部は前年同期比5.7%増、農村部は同6.8%増であった。17年のそれぞれ同6.5%増、同7.3%増から伸び率は低下した。
- ◆ 3月末の都市部失業率は3.89%と17年12月末の3.90%から若干低下した。

失業率と求人倍率



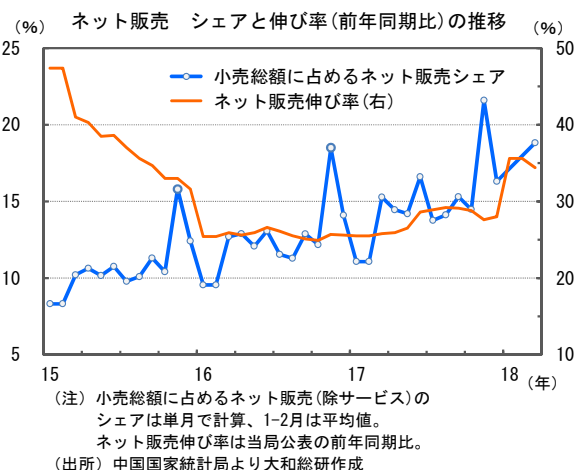
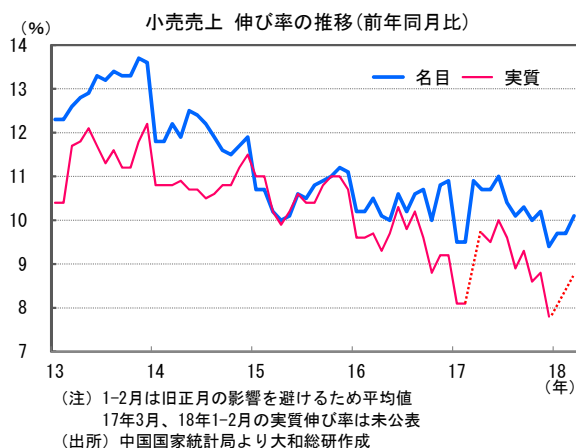
都市部新規雇用増加数の推移、一人当たり実質可処分所得



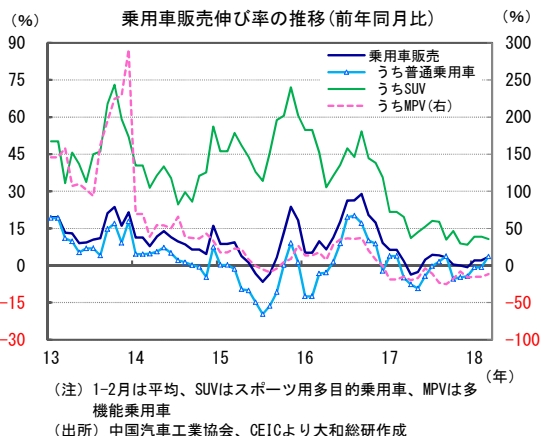
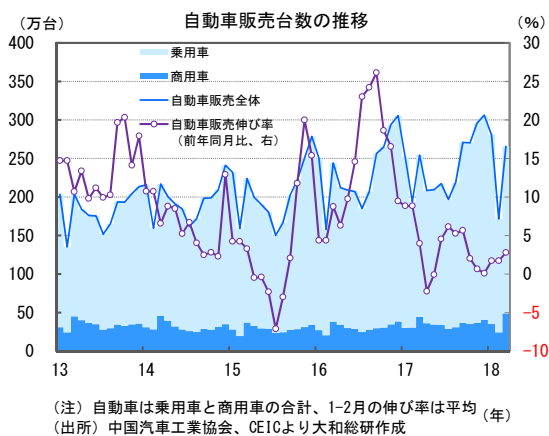
小売

- ◆ 2018年3月の小売売上（名目）は前年同月比10.1%増と、1～2月の前年同期比9.7%増から上向いた。農村からの出稼ぎ労働者の中には小正月（2018年は3月2日）まで休暇を取得する人がおり実質的な休日効果が生じたというカレンダー要因が3月の消費の上昇に寄与した。1-3月期の名目小売は前年同期比9.8%増と2017年の前年比10.2%からやや減速している。全国可処分所得が2017年の前年比8.3%から2018年1-3月期は前年同期比8.0%に低下したことも減速の背景の一つだと考えられる。1～2月の小売売上（実質）伸び率は公表されていないが、3月は前年同月比+8.6%増であった。
- ◆ 1～3月のネット販売（除サービス）は前年同期比34.4%増と2017年の前年比28.0%増から一段と加速している。
- ◆ 中国汽車工業協会によると、3月の自動車販売台数は、前年同月比2.8%増の265.6万台であった。1～3月の累計自動車販売台数は、前年同期比2.8%増の718.3万台であった。3月の乗用車販売台数は前年同月比3.5%増の216.9万台、1～3月の累計では前年同期比2.6%増の610.0万台であった。車種別（以下、3月、前年同月比）は、SUV（スポーツ用多目的車）が11.3%増と伸び率が低下したものの、普通乗用車が3.5%増と伸び率が上昇し、MPV（多機能乗用車）が11.5%減とマイナス幅が縮小した。

小売売上の推移



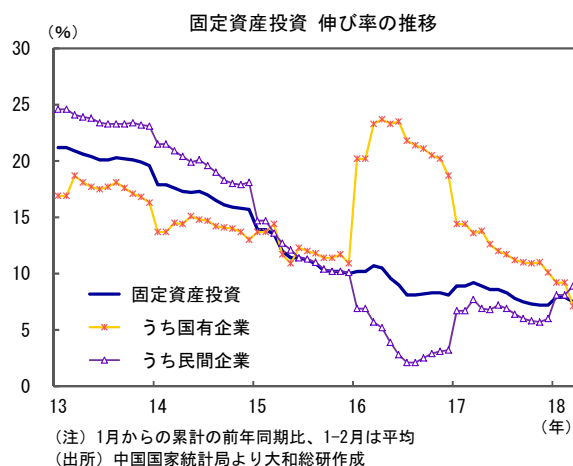
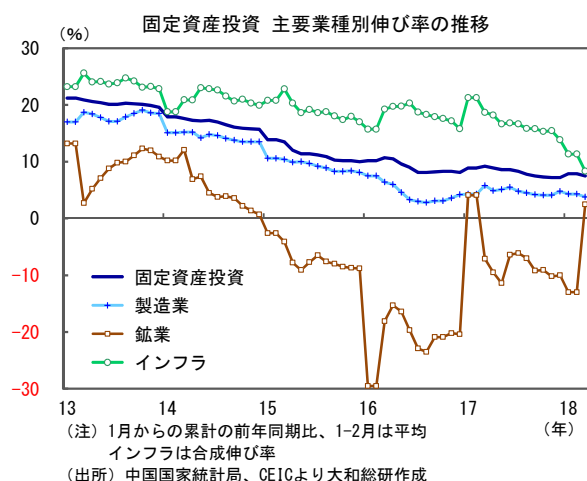
自動車販売



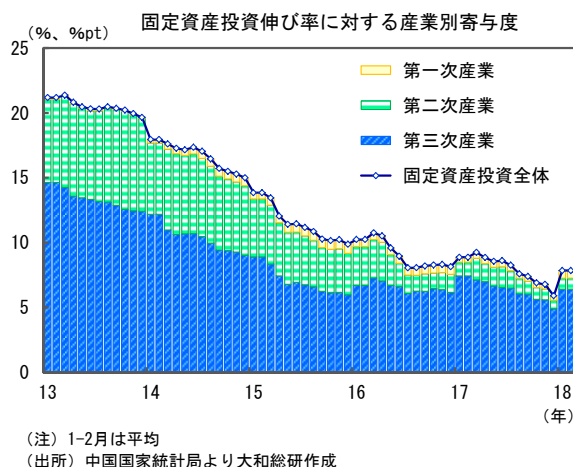
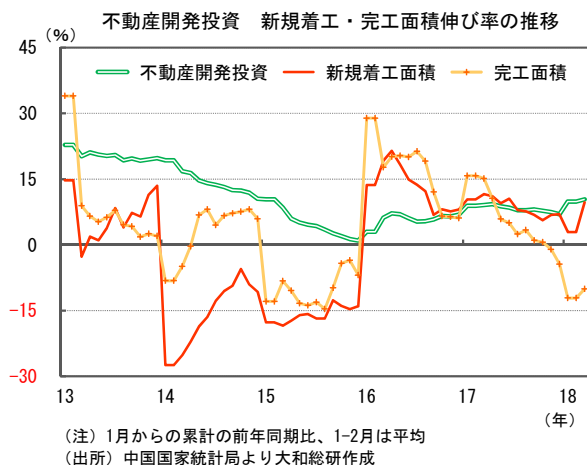
投資

- ◆ 2018年1～3月の固定資産投資は前年同期比7.5%増と、2017年の前年比7.2%増から伸び率が上昇した。全体の4割弱を占める国有部門は、過剰生産能力を抱える分野を中心に新規投資が抑制された結果1～3月は前年同期比7.1%増と2017年の前年比10.1%増から伸び率が低下した。一方、全体の6割強を占める民間部門では、電子機器など製造業を中心に1～3月は前年同期比8.9%増と2017年の前年比6.0%増から伸び率が上昇した。
- ◆ 1～3月の固定資産投資を主要業種別に見ると、鉱業が前年同期比2.5%増（2017年は前年比10.0%減）とプラスに転じたもののインフラは前年同期比8.3%増（2017年は前年比13.9%増）、製造業は前年同期比3.8%増（2017年は前年比4.8%増）と伸び率が低下した。また、政府が環境汚染の防止に力を入れていることもあり、環境保護関連投資は前年同期比34.2%増（2017年は前年比23.9%増）と伸び率が上昇している。
- ◆ 1～3月の不動産開発投資は前年同期比10.4%増と、2017年の前年比7.0%増から伸び率が上昇した。不動産新規着工面積・完工面積は、それぞれ前年同期比9.7%増、同10.1%減であった。

固定資産投資



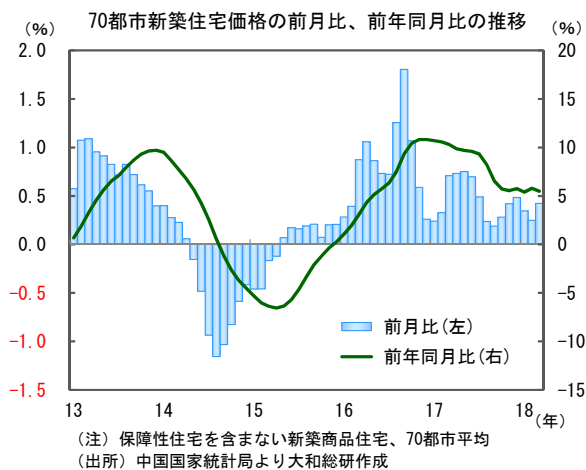
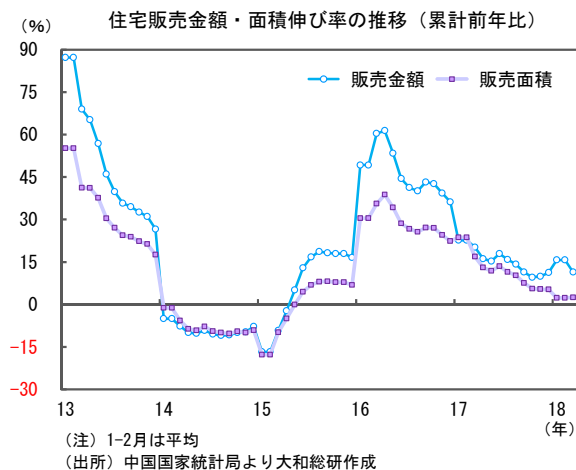
不動産開発投資、固定資産投資産業別寄与度



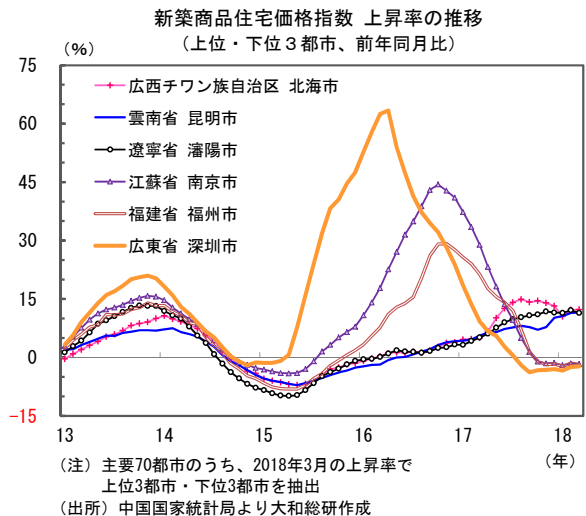
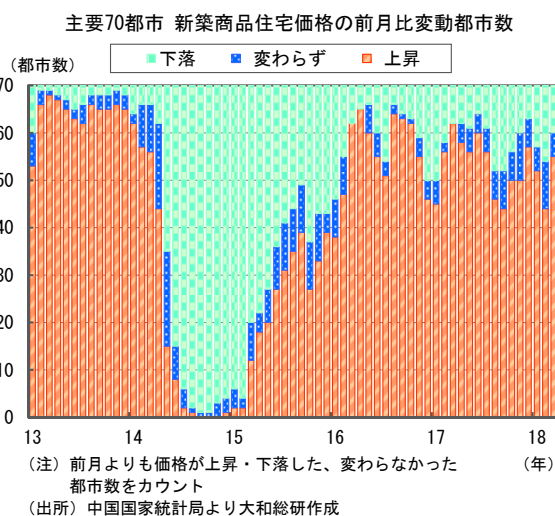
住宅

- ◆ 2018年1～3月の住宅販売金額は前年同期比11.4%増と2017年の前年比11.3%増から伸び率が上昇した。一方、1～3月の住宅販売面積は前年同期比2.5%増と2017年の前年比5.3%増から減速している。
- ◆ 3月の主要70都市新築商品住宅価格（平均）は、前年同月比5.5%上昇、前月比0.4%上昇となり、下げ止まりの兆しが見えている。前月比で上昇したのは55都市（2月は44都市）、下落したのは10都市（2月は16都市）、変化がなかったのは5都市（2月は10都市）となった。
- ◆ 3月の主要70都市の新築商品住宅価格上昇率の上位3都市は、広西チワン族自治区北海市（前年同月比12.3%上昇）、雲南省昆明市（同11.5%上昇）、遼寧省瀋陽市（同11.4%上昇）であった。一方、下位3都市は、広東省深圳市（同2.3%下落）、江蘇省南京市（同1.8%下落）、福建省福州市（同1.7%下落）となった。

住宅販売金額・面積の伸び率推移、新築住宅価格の伸び率推移



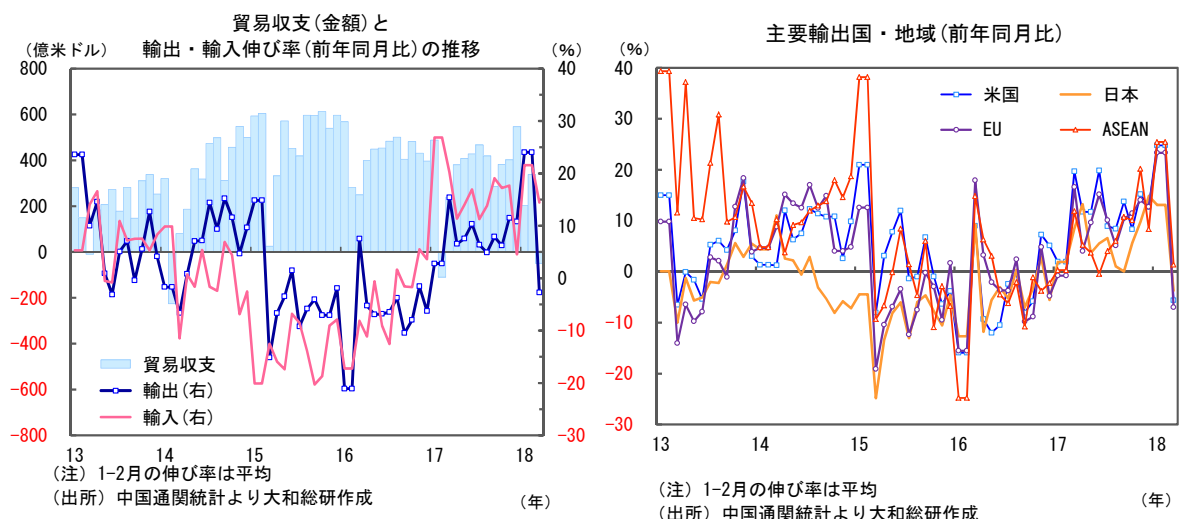
新築商品住宅価格（主要70都市の前月比変動都市数と、前年比で見る上位・下位3都市）



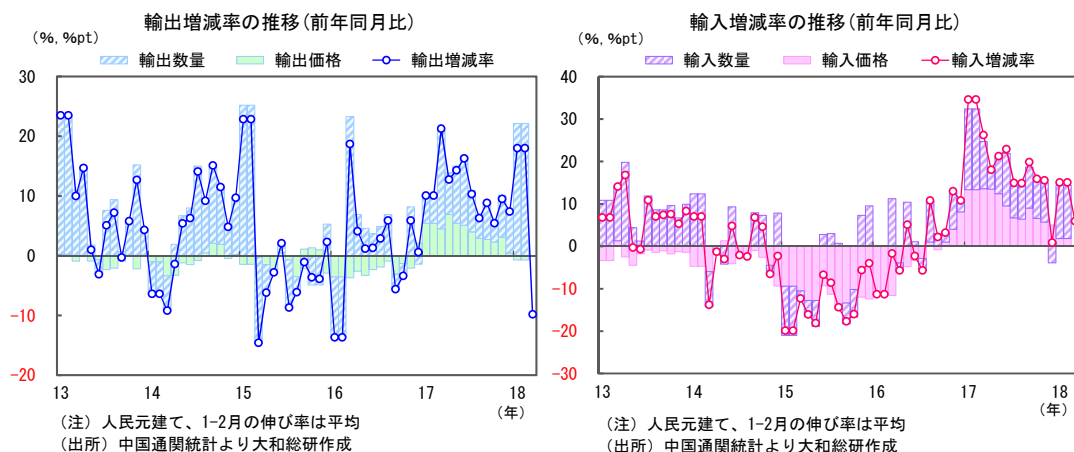
貿易

- ◆ 2018年3月のドル建て輸出は前年同月比2.7%減、輸入は同14.4%増であった。貿易収支は49.8億米ドルの赤字と、2017年2月以来の赤字となった。農村からの出稼ぎ労働者の中には小正月（2018年は3月2日）まで休暇を取得する人がいるというカレンダー要因が3月の輸出の急減の理由の一つ。18年1～3月のドル建て輸出は前年同期比14.0%増と2017年の前年比7.9%増から伸び率は上昇している。18年1～3月のドル建て輸入も前年同期比18.9%増と2017年の前年比16.0%増から伸び率が上昇している。1～3月の輸出を主要貿易相手国・地域別に見ると、米国（2017年：前年比11.6%増→1～3月：前年同期比13.6%増）、EU（2017年：同9.7%増→同12.5%増）、日本（2017年：同6.2%増→同6.8%増）、ASEAN（2017年：同9.0%増→同15.9%増）と伸び率が上昇した。
- ◆ 不均衡問題が焦点となっている米国との貿易収支を見ると、1～3月は、582.4億ドルの黒字で前年同期比19.4%増と2017年の前年比10.0%増より伸び率が上昇している。
- ◆ 18年3月の人民元建て輸出伸び率は前年同月比9.8%減、輸入は同5.9%増、1～3月の人民元建て輸出は前年同期比7.4%増、輸入は同11.7%増となった。

輸出入の推移（ドル建て）、主要輸出国・地域



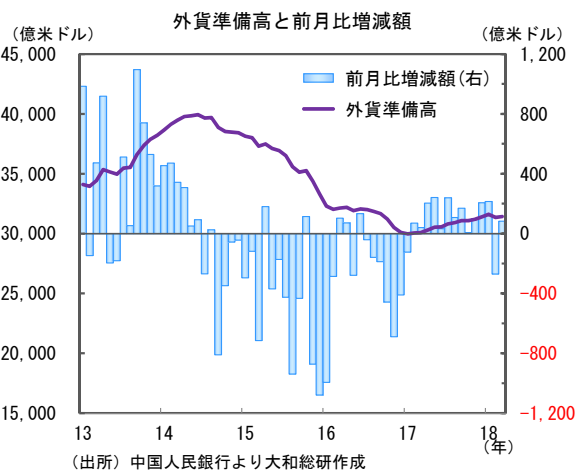
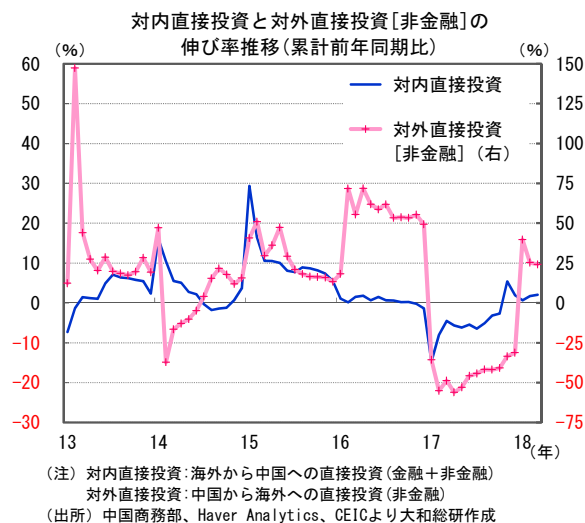
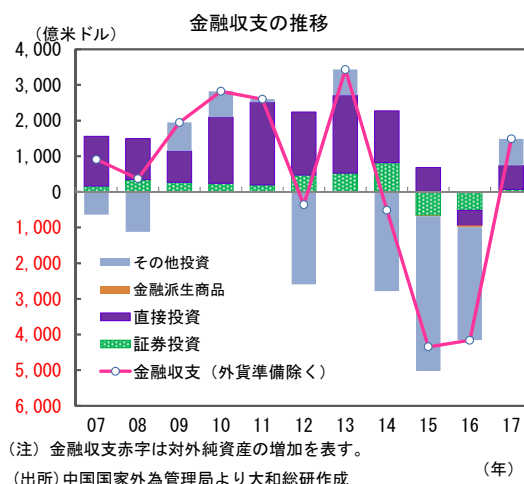
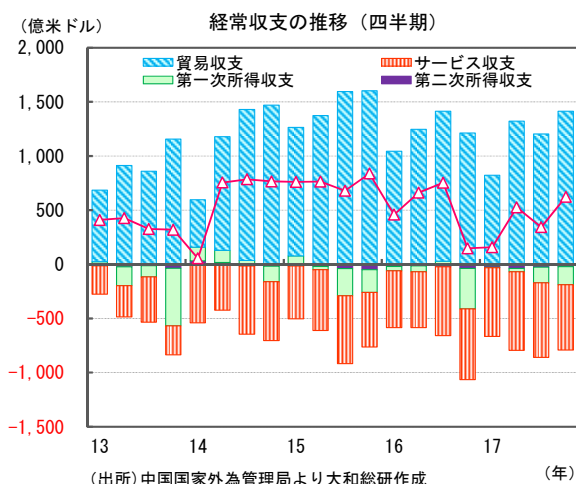
輸出入の推移（人民元建て）、価格・数量



国際収支

- ◆ 2017年10-12月期の経常収支は623億米ドルの黒字だった。貿易収支は1,414億米ドルの黒字と黒字幅が拡大し、サービス収支は604億米ドルの赤字と赤字幅が縮小したため、経常収支の黒字幅が拡大した。
- ◆ 2017年の金融収支（外貨準備除く）は1,486億米ドルの黒字であった。資本規制が功を奏した結果、14年以降赤字が続いていたその他投資が744億米ドルの黒字に転じた。
- ◆ 1~3月の中国から海外への対外直接投資（非金融）は255億米ドルだった。前年同期比は24.1%増と、18年に入りプラスとなった。
- ◆ 1~3月の対内直接投資（金融+非金融）は345億米ドルだった。前年同期比は2.1%増と、17年11月からプラスが続いている。4月10日に開催された博鳌アジアフォーラムにおいて、習近平国家主席は金融業や自動車などの業種の外資出資比率制限の緩和を発表した。新エネルギー車については今年中に外資出資比率制限を撤廃するとした。
- ◆ 3月末の外貨準備高は3兆1,428億米ドルと、2ヶ月ぶりに前月比で増加した。

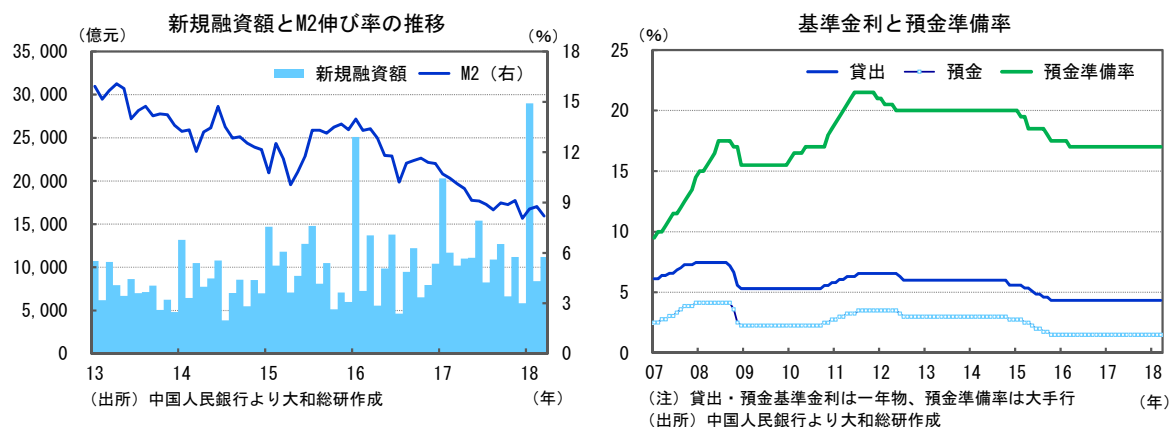
経常収支、対内・対外直接投資、外貨準備高



金融

- ◆ 2018年3月末のM2伸び率は前年同月比8.2%、2月末の同8.8%から伸び率が低下した。
- ◆ 1～3月の社会資金調達金額(社会融資総量)は前年同期比19.4%減と、2017年の前年比9.2%増から伸び率がマイナスに転じた。シャドバンキングの規制により委託貸出や信託貸出が低迷していることが主因である。3月末の社会資金調達金額残高は179兆9,300億円で、前年同月比10.5%増と、2017年末の同11.9%増から伸び率が低下した。
- ◆ このような中、人民銀行は4月25日から預金準備率を1%pt引き下げることが発表された。

M2と金利



社会資金調達金額(社会融資総量)の増加額と残高

社会融資総量の増加額(億円)								
	全体	内訳						
		人民元貸出	外貨貸出	委託貸出	信託貸出	未割引の銀行引受手形	企業債券	非金融企業の域内株式発行
2008年	69,804	49,042	1,947	4,261	3,145	1,065	5,523	3,325
2009年	139,105	95,943	9,265	6,780	4,364	4,607	12,369	3,352
2010年	140,191	79,450	4,853	8,749	3,864	23,347	11,060	5,786
2011年	128,286	74,715	5,712	12,964	2,032	10,272	13,659	4,377
2012年	157,631	82,038	9,163	12,838	12,846	10,498	22,551	2,508
2013年	173,168	88,917	5,849	25,466	18,403	7,756	18,112	2,219
2014年	164,134	97,815	3,554	25,069	5,175	-1,281	23,816	4,350
2015年	154,063	112,693	-6,427	15,911	434	-10,567	29,388	7,590
2016年	178,022	124,372	-5,640	21,854	8,593	-19,531	29,993	12,416
2017年	194,445	138,432	18	7,770	22,555	5,364	4,421	8,759
2018年1～3月	55,632	48,500	492	-3,314	758	1,221	5,371	1,283
前年同月比(%)	-19.4	7.7	-37.1	純増⇒純減	-89.7	-82.0	純減⇒純増	-50.6

社会融資総量の残高(億円)								
	全体	内訳						
		人民元貸出	外貨貸出	委託貸出	信託貸出	未割引の銀行引受手形	企業債券	非金融企業の域内株式発行
2008年	379,765	298,625	11,993	18,599	6,877	12,626	14,358	15,965
2009年	511,835	392,095	18,649	25,258	11,238	17,234	26,734	18,886
2010年	649,869	470,121	21,614	36,422	15,103	40,586	38,042	24,722
2011年	767,478	545,811	24,445	44,143	17,142	50,651	51,814	29,098
2012年	914,186	627,682	31,095	51,692	29,999	61,136	74,819	31,601
2013年	1,074,575	716,813	33,333	72,214	48,329	68,839	92,925	33,718
2014年	1,228,591	814,300	34,700	93,300	53,500	68,660	116,900	37,690
2015年	1,382,824	927,521	30,193	110,099	54,539	58,544	146,258	45,251
2016年	1,559,644	1,051,860	26,301	131,950	62,758	39,022	179,199	57,722
2017年	1,746,370	1,190,293	24,780	139,720	85,314	44,386	183,748	66,456
2018年3月	1,799,300	1,238,600	24,600	136,300	86,200	45,600	188,600	67,800
前年同月比(%)	10.5	12.9	-8.7	-1.4	23.0	-0.5	5.7	12.4

(注) 社会融資総量とは、金融システムから経済に供給された資金のネット増加額(または減少額)
内訳と合計は一致しない。社会融資総量の増加額に関しては、月次金額の合計値を使用
(出所) 中国人民銀行より大和総研作成

株価と為替

- ◆ 2018年3月の上海総合指数、深圳成分指数はそれぞれ月間3.2%下落、0.7%下落だった。
- ◆ 3月末の人民元の対米ドルレートは6.2881元/ドルと月間0.7%の元高となった。4月20日時点の対米ドルレートは6.2897元/ドルと3月末比で0.03%の元安であった。
- ◆ BISの2月（月中平均）の人民元の実質実効為替レートは、前月比1.4%の元安、前年同月比4.4%の元高であった。

株価指数の推移



人民元の対主要国際通貨為替レート、実質実効為替レート

